



R7.1.7

令和6年度 朝日中学校 学校だより

だのっこ

鶴岡市立朝日中学校

TEL:53-2092

Fax:53-2091

Mail⇒



今年もどうぞよろしくお願いいたします。

2 学期の終わりには、インフルエンザ等により体調を崩した生徒が多く、日程を短縮するなどの対応を取らせていただきました。年が明けても、まだまだインフルエンザ等の感染状況は予断を許さない状況にあるようですので、マスクや手洗いうがいなど、自分でできる対策は引き続き実行していただきたいと思います。

この冬休みには、大きな事故等の報告もなく新年を、3 学期を迎えることができたことをまずはうれしく思います。

さて、2 学期の終業式では、「新年を迎えるに当たり、3 月にこれまでの 1 年を振り返った時、みんなが『楽しかった』と思えるよう、力を貸してほしい」、とお願いしました。自分だけでなく周りのみんなが楽しかったと思えるためには、自分の思いや主張を受け入れてもらうだけでなく、相手の思いや主張を受け入れることが重要だと思います。お互いの違いを認め、自分と相手を尊重する、という気持ちを持つことによって全員が「楽しい」と思える学校生活が保障されるのではないかと、思っています。



また、「これまでの自分自身を振り返り、改めて『理想の自分像』について考え、その実現に向かって行動してほしい」、とお願いしていました。別に『こんな人になりたい』とか『こんな仕事に就きたい』とかでなくても、今までできなかったことができるようになる、でもいいと思います。とにかく、「こんな未来の自分でありたい」という目標をもち、その実現のため、些細なことでも、できることから実行していくことが大切なんじゃないか、と思っています。

新年を迎え、それぞれが決意を新たに、いろんなことにチャレンジしてほしいと思います。

引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

ちなみに…なんですが。

秋山がこれまで、自分の生き方や「理想の自分像」について深く考える機会は 4 回あって、その 1 回目が 15 歳の中学を卒業した後の春休みでした。

「もっと人の気持ちが考えられる人になりたい」

小中学生の自分は、自分で言うのも変ですが「嫌なヤツ」でした。それなりに友達もいたし、行事等では責任者的な役割もやっていたから、クラスや学年に貢献することもないわけではないけれど、15 歳の春休みに秋山が思い出していたのは、いろんな場面で調子にのって周りの友達を傷つけるようなことをやってしまう自分のこと。自分自身も傷つくことを言われたり、されたりもしてきたから、その痛みや辛さは十分わかっているはずなのに、春休みの一人の時間の中でそれまでを振り返ったとき、同じことをしてきた自分に気づきました。

この先もずっとそんな思いをするのが嫌で、その春休みに自分自身の目標として「相手の気持ちを考えた言動ができるようになる」と決めました。これが初めて自分が明確化した「理想の自分像」でした。

機会があったら、決意して過ごした高校生活の時のことに触れたいと思います。